

## 第5回 道内学生の製品化・事業化アイデア実現支援事業

### 募集要項

募集締切：令和4年10月20日（木）

#### < 主催 >

札幌商工会議所

北海道経済連合会

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター

一般社団法人 北海道ニュービジネス協議会

## <事業概要>

### 1. 主催

札幌商工会議所、北海道経済連合会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、一般社団法人北海道ニュービジネス協議会

### 2. 協力

国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、札幌市、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行、北海道信用金庫、株式会社日本政策金融公庫

### 3. 事業の目的

地元経済団体の会員企業・金融機関等（以下、「企業等」という）が、道内学生考案のビジネスアイデアの実現を支援することで、「理系・技術系学生の本道定着」「ものづくり産業の振興」「北海道経済の活性化」に寄与することを目的として実施します。

### 4. 事業の概要

道内の学生グループが考案した、「ものづくり分野」やIT・IoT・AI等の「情報分野」における製品化・起業アイデアを企業等が実現に向けて支援する事業です。

学生グループは、企業等に向けて、自ら考案したアイデアのプレゼンテーションを行います。

企業等は、実現性や需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループと個別面談を行い、アイデア実現に向けた支援を検討します（下記のような支援が受けられる可能性があります）。

#### ●企業支援の例：

- ①共同研究・共同開発
- ②ビジネスプランの購入
- ③資金提供
- ④工場・機器の使用許可、材料提供

#### ●金融機関支援の例：

- ①学生プランを実現する企業への支援
  - ・各種融資制度、基金（中小企業の新技术・製品研究開発への助成）、販路開拓支援
- ②学生グループに対する創業支援
  - ・創業融資
  - ・創業、新事業等成長企業を支援するファンドなど
  - ・創業計画策定支援、資金調達に関する相談対応、販路開拓支援
- ③経営人材派遣等の人材支援に関するサポート

#### ●商工会議所の支援例：

創業に関する各種支援策によるサポート（セミナー・専門家による無料アドバイス等）

## <応募要領（全コース共通）>

### 1. 応募期間

製品化支援・起業支援コース：令和4年9月1日（木）～令和4年10月20日（木）

企業課題解決コース：令和4年7月1日（金）～令和4年10月20日（木）

※応募期間が異なりますので、ご注意ください。

### 2. 応募資格

対象分野に関連する学科を有する北海道内の大学・高等専門学校・専門学校に在籍する学生グループ

※必ず2名以上で構成してください。※他グループや他コースとの重複応募にならないように留意して下さい。

### 3. 対象分野

「ものづくり分野」や I T・IoT・AI 等「情報分野」の学生発案の製品化又は起業アイデア

（例）「製品開発」、「技術開発」、「素材開発」、「システム開発」、「アプリ開発」などで、

SDG s、DX などの観点から社会的需要の高いアイデア

※「健康・医療」、「保健機能食品」を含み、「一般食品」は対象外とします

※過去の発表内容（一部）は「別添1」をご覧ください

### 4. 応募コース

①製品化支援コース

②起業支援コース

③企業課題解決コース

書類審査を行います（詳細は「項目6」をご覧ください）

※企業課題は「別添2」令和4年度企業課題一覧をご覧ください。

### 5. 応募方法・締切

応募数：①製品化支援コース及び②起業支援コース～最大20グループ

③企業課題解決コース～各課題に対し最大3グループ

応募方法：エントリーシートを下記提出先へ E-mail で送付してください。

提出先：事務局 札幌商工会議所 産業部 地域振興・ものづくり課

E-mail : [tiiki@sapporo-cci.or.jp](mailto:tiiki@sapporo-cci.or.jp) TEL : 011-231-1373 FAX : 011-222-5215

応募様式：応募コースに応じて『エントリーシート（製品化支援コース・起業支援コース用）』

または『エントリーシート（企業課題解決コース用）』のいずれかをお使いください。

なお、エントリーにあたり、事前に別紙『参加規約』に同意願います。

『エントリーシート』『参加規約』は下記 URL から取得してください。

U R L : <https://www.sapporo->

[cci.or.jp/web/purpose/02/details/post\\_66.html](https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/02/details/post_66.html)



応募締切：令和4年10月20日（木）まで

### 6. 書類審査

ご提案いただいたアイデアは、エントリー受付後、専門家及び主催者側で書類審査を行います。

※審査基準～革新性、市場性、地域性、独創性等

書類審査終了後、結果をエントリーシートに記載された E メール宛に通知します。

### 7. 準備金（経費補助）

参加学生に経費（作業費・交通費等）を支給します。

●製品化支援コース・起業支援コース・・・5万円／1グループをプレゼン発表後に支給。

●企業課題解決コース・・・2万円／1グループを最終報告会後に支給。

### 8. 表彰制度

優秀なアイデアには札幌商工会議所から表彰します。

## ＜プレゼンテーション要領＞

(①製品化支援コース、②起業支援コースのみ)

### 1.公開プレゼンテーション概要

日 時：令和4年12月7日(水)

発表形式：ハイブリッド形式(会場参加+Web配信(ZOOM))を予定

① プレゼンテーション当日、プレゼンテーションを行っていただきます。

※参加者が遠方の場合、オンライン発表も可能です。

② 別紙の参加規約に同意した企業等に限りプレゼンテーション視聴に参加します。

(企業等は、会場またはオンラインでの参加を想定)

③ 各グループのプレゼンテーション終了毎に企業等との質疑応答を予定しておりますので、発表者は必ず参加をお願いします。

※ 新型コロナウイルスの感染状況次第では、発表形式を変更する場合があります。

### 2.プレゼンテーション資料の作成及び提出方法

制限時間：自己紹介を含め12分以内

ファイル形式：指定なし

内 容：下記内容にて、企業等に向けたプレゼンテーションとしてください。

① 発表者・発表グループの自己紹介(1分程度)

② 発表者による資料(powerpoint等)を使用した説明

提出方法：メール([tiiki@sapporo-cci.or.jp](mailto:tiiki@sapporo-cci.or.jp)宛)で提出

※大容量の場合、オンラインストレージやCD-Rを活用して事務局へご提出ください。

提出期限：**令和4年11月30日(水)まで**

注意事項：以下の点にご留意願います。

①特許取得にかかわるアイデアを発表する場合は、発表前に特許出願を行うなど事前のご対応をお願いします。

②視聴する企業等は予め視聴申込をした方に限定しますが、不特定多数が視聴することを踏まえ、開示する内容は応募者にてご判断願います。

### 3.プレゼンテーションの実施から面談までの流れ

#### ①企業等からの面談の申込

プレゼンテーションに参加した企業等は、実現性や需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに面談の申し入れを行います。 ※申し出が無い場合もございます

#### ②面談実施の調整

学生グループは、支援を申し出た企業との面談可否を判断。面談する場合、双方の面談日程調整を事務局が行います。対面か否かの判断は双方の希望に沿った形で行いますが、遠方在住の場合は、オンライン面談を推奨します。原則、学生グループ・企業のみで面談を行いますが、双方から申し出があった場合は事務局も参加します。

※後日、事務局より面談の状況・結果についてヒアリングを行う予定ですのでご協力下さい。

## ＜課題解決案の提案要領＞

### （③企業課題解決コースのみ）

#### 1.概要

- ①本コースの学生からの提案は非公開（課題提供企業と応募学生グループ間のみ）とします。
- ②企業、学生グループ双方には予め企業秘密、アイデアに関する著作権等に関する別紙規約に同意いただきます。  
（必要に応じ、面談前に秘密保持契約を締結：書式は事務局でも用意可能です）
- ③感染症拡大等の影響により、面談や発表の時期・方法が変更となる場合がございます。

#### 2.最終提案までの流れ

##### ①学生グループのエントリー募集（7月1日（金）～10月20日（木））

別添2に掲載された企業課題を選択し、エントリーシートを作成

##### ②課題提供企業との面談

日 時：随時実施（～12月中旬までの間に初回面談実施）

※随時企業へエントリーシートを提出します。

方 法：企業への現地訪問 または オンライン（Zoomミーティング）

※学生グループと企業の面談を事務局が調整

内 容：課題の具体的な説明 及び 質疑応答、課題解決案の方向性確認

参 加 者：学生グループ、課題提出企業、事務局職員

##### ③課題解決案の中間発表

日 時：12月～1月中旬までに実施予定

方 法：企業への現地訪問 または オンライン（Zoomミーティング）

内 容：課題解決案の中間発表 及び 改善のための質疑応答

制限時間：発表15分以内、質疑応答10分以内

参 加 者：学生グループ、課題提出企業（原則、事務局は面談に入りません）

##### ④課題解決案の最終提案

日 時：2月中・下旬を予定（ただし、③で解決案を採用するに至った場合は開催しません）

方 法：企業への現地訪問 または オンライン（Zoomミーティング）

内 容：課題解決案の最終発表

制限時間：発表15分以内、質疑応答10分以内

参 加 者：学生グループ、課題提出企業、事務局職員

##### ⑤課題解決案採用の諾否

課題解決案の提案を受けた企業は、最終提案後に解決案採用の諾否を回答

します。解決案を採用する場合は、企業および学生グループ双方の合意に基づき契約等を行い、共同研究、共同開発などを継続いただきます。

## ＜実施スケジュール＞

(① 製品化支援コース、②起業支援コース)

時 期	内 容【対象】
7/21	<p>① <b>製造業と学生の交流会①</b>            広く事業を知ってもらうために、学生と製造業の交流会を実施</p>
9/1～10/20	<p>② <b>学生グループのエントリー受付</b>            募集期間内にエントリーシートを事務局へメール            →専門家によるエントリーシートへのアドバイス（ご提出後に随時実施）</p>
エントリー受付後	<p>③ <b>書類審査の結果通知</b>            エントリーシートに記載された連絡先に E メールで通知します</p>
11/1～ 11/30	<p>④ <b>企業等の参加受付</b>            学生グループのエントリー締切後、応募されたアイデアを公開し            企業等へプレゼンテーション視聴参加を呼び掛け</p>
11/30	<p>⑤ <b>プレゼンテーション資料提出</b>            提出いただいた資料をもとに事務局でオンライン配信時のテロップ等の編集を実施。提出後の修正はプレゼンテーション実施日の 1 週間前迄可能</p>
12/7	<p>⑥ <b>プレゼンテーション実施</b>            ハイブリッド形式（会場参加+Web 配信（ZOOM））            企業等からの質問受付、学生グループによる回答</p>
プレゼン終了後～ 2月下旬	<p>⑦ <b>面談申込受付・面談実施</b>            企業等からの面談申込の都度、学生グループとの日程調整を行います</p> <p>⑧ <b>参加者意見・専門家からのアドバイスをフィードバック</b>            プレゼンテーションに参加した企業等からいただいたご意見、            専門家からのアドバイスを学生グループにフィードバック</p>
3月	<p>⑨ <b>事務局による経過状況の確認</b>            面談後の状況について企業・学生グループにヒアリングいたします</p> <p>⑩ <b>製造業と学生の交流会②</b>            交流会を実施することで、プレゼン参加学生と道内ものづくり企業の絆を            深める場とする            参加学生が道内企業を就職先の選択肢とするための理解を深める</p>

**(③企業課題解決コース)**

時 期	内 容【対象】
7/1～10/20	① 学生グループのエントリー受付 募集期間内にエントリーシートを事務局へメール
エントリー受付後	② 書類審査の結果通知 エントリーシートに記載された連絡先に E メールで通知します。
随時実施～ 12月中旬	③ 課題提供企業との面談（初回） 企業との面談を実施し、課題の具体的な内容を確認
面談後～	④ 課題解決案の検討 企業との面談を受けて学生グループが具体的な課題解決策を検討
12月～ 1月中旬	⑤ 課題提供企業との面談（中間報告） 課題解決案の中間発表を行い、企業と修正点等を検討
中間報告後～ 2月中	⑥ 課題解決案の検討 中間発表後の修正点を踏まえ学生グループが課題解決策を検討
2月中旬～ 下旬	⑦ 課題提供企業との面談（最終） 企業へ学生グループが最終的な課題解決策を提案 企業は解決策の採用諾否を決定

**〈別添 1〉**

**『①製品化支援コース、②起業支援コース』**

**過去の発表内容**

- ドローンを用いた農作物保管フレコン吊りベルトアジャストシステム
- 無人走行実験実証試験のための自動運転支援システム
- エネルギー回復に有効な運動後に食べるスポーツアイスの商品化
- スマート農業に向けた携帯端末による食品判別
- 音によるエゾシカと車両衝突回避のためのスピーカーシステム
- 冬期の転倒予防を目指したスマートシューズの開発
- 電動アシストキャリーケース
- テトラーク式引上炉を活用したスクラップ合金中からの不純物金属の除去技術への試み
- トポロジー最適化を用いた高断熱性サッシ構造の提案
- 人と寄り添う収納棚
- 可動広告付き地下鉄つかまり棒洗浄ロボット
- 人類滅亡の危機を回避するためのインフレタブル素材の検討
- スマホアプリを用いたゴミ出し支援サービス
- 北海道に適した防雪柵設計の提案（軽量かつ組立容易な樹脂製防雪柵）

など

## 〈別添2〉 令和4年度企業課題一覧

### 『③企業課題解決コース』 企業課題一覧

#### 企業課題No. 1

企業課題	ユニバーサルデザインを意識した歩道や車道、建築外構等に使用される製品アイデア
説明	・道路・上下水道・景観・建築等の各分野に幅広くプレキャストコンクリート製品を提供している。また高性能な横断側溝、柵等オリジナル製品も多く、従来より強度があり除雪に強い点字ブロック等も製造している。ユニバーサルデザインを意識した除雪等の磨耗や衝撃に強い製品、安全や景観の維持、環境に配慮した製品の開発を検討しており、「安心・安全」を与える製品、洪水等の災害に対応できる製品、CO <sub>2</sub> 削減等の環境に配慮した製品の新しいアイデアが欲しい。
企業からの支援	実現性のあるアイデアであれば自社工場での試作、共同研究開発、機器や設備の貸し出し
本社所在地	札幌市
業種	製造業
主な事業内容	コンクリート製品製造及び販売、土木工事資材の販売
会社設立	1928年（昭和3年）
資本金	3,824万円
従業員数	64名
生産設備・技術	プレキャストコンクリート製品製造工場：江別工場・長沼工場 ・バッチャープラント ・型枠流し込み製造ライン ・遠心力製造ライン ・即時脱型製造ライン ・養生室
工場視察等	面談、工場・現場見学等、柔軟に対応可能
企業名	<a href="http://www.t-u-advance.jp/">東陽上村アドバンス株式会社</a>
URL	<a href="http://www.t-u-advance.jp/">http://www.t-u-advance.jp/</a>

#### 企業課題No. 2

企業課題	解体自動車から回収したエアバック・シートベルト・ガラスから制作した製品を、より一般的に普及させるアイデア
説明	リサイクル業で、事業の中から回収された素材を活かした商品開発を行っている。解体自動車から回収したエアバック・シートベルト・ガラスからMA-1・エプロン・バック・煉瓦・ガラス材等を制作等していますが、より一般の方に普及させる、アイデアが乏しい。これからの社会に必要とされるリサイクルを普及させていく、デザインやアイデアを学生から見た地域の特性や、身近な環境への貢献なども表現も含めて提案していただきたい。
企業からの支援	実現性があるアイデアは共同開発・共同研究の検討、開発の費用負担
本社所在地	札幌市
業種	リサイクル業・製造業
主な事業内容	資源リサイクル事業、家電リサイクル事業、アルミ精鑄事業、ELV（自動車リサイクル）事業
会社設立	1953年（昭和28年）
資本金	9,800万円
従業員数	399名
生産設備・技術	自動車解体ライン等
工場視察等	面談、工場・現場見学等、柔軟に対応可能
企業名	<a href="https://www.suzuki-shokai.co.jp/">株式会社鈴木商会</a>
URL	<a href="https://www.suzuki-shokai.co.jp/">https://www.suzuki-shokai.co.jp/</a>

企業課題No. 3

企業課題	IT を活用した技能伝承プラットフォームの構築に関するアイデア
説明	ベテラン社員から若手社員（18 歳～30 歳くらい）への技能伝承が課題となっている。汎用的なクラウド等を使った簡易な方法で技能伝承の仕組みを作りたい。想定としては、タブレットを使用した動画撮影と汎用ソフトを活用した動画編集により、手軽に作業内容を記録・編集し、若手がいつでも閲覧出来て学習できる環境を作りたい。学生の視点でどのような IT 技術を使うとハードルが低く、継続性を担保させることが可能かなどを共同で研究したい。また、技能マニュアルの作り方や分かり易い表現方法、コメント等、ユーザー側に立った視点で実際にいくつか共同で技能伝承のプラットフォーム（仕組み）の作り込みを行いたい。
企業からの支援	企画の成立性が認められれば、弊社メンバー（2-3 人）との定期的な研究・作業。必要 IT 機器や機材の貸与。
本社所在地	札幌市
業種	輸送用機器、自動車・自動車部品製造業
主な事業内容	自動車設計・製造・販売・アフターサービス
会社設立	1979 年（昭和 54 年）
資本金	3,500 万円
従業員数	103 名
生産設備・技術	社内 Wi-Fi 接続、クラウドサービスへの接続等々。
工場視察等	面談、工場・現場見学等、柔軟に対応可能
企業名	<a href="https://www.sapporo-body.co.jp/">札幌ボデー工業株式会社</a>
URL	<a href="https://www.sapporo-body.co.jp/">https://www.sapporo-body.co.jp/</a>

企業課題No.4

企業課題	機能性とデザイン性を両立した個性的な照明・空調設備等電材の製品アイデア
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明や空調などの電材品は耐震性などの条件が年々厳しくなっており、それによってデザイン性が失われている。また、大手メーカーなどでは特注品対応をしない傾向にあり商品の選択肢が狭まっている。</li> <li>・そのため、当社では耐震性等の「機能性」と個性的な「デザイン性」を両立した照明や空調設備などの電材製品の独自開発を検討している。</li> </ul>
企業からの支援	市場性・実現性のあるアイデアであれば、共同開発可能
本社所在地	札幌市
業種	卸売業
主な事業内容	照明器具・空調換気・電材品・家電品等の販売
会社設立	1950 年（昭和 25 年）
資本金	1,000 万円
従業員数	18 名
生産設備・技術	メーカーの販売部門から分社化したため、製造から販売まで一貫して可能
工場視察等	工場見学不可、面談は可能
企業名	<a href="https://www.hokkaido-sasaki.co.jp/">株式会社北海道佐々木商会</a>
URL	<a href="https://www.hokkaido-sasaki.co.jp/">https://www.hokkaido-sasaki.co.jp/</a>

企業課題No.5

企業課題	札幌軟石を使用した新事業開発アイデア
説明	札幌軟石の採掘、加工販売を行っている唯一の会社。札幌軟石は主に建築材として利用されているが、その多孔質の特性を生かし、あさりの養殖場の水質改善に使われたり、音楽スタジオの内壁に張り音質向上の効果がある。そのように建築材や軟石小物以外の目的・効果がみられるような新事業開発のアイデアを学生さんの柔軟な発想で提案して頂きたい。
企業からの支援	素材（札幌軟石）の提供、共同研究開発
本社所在地	札幌市
業種	石材業
主な事業内容	札幌軟石の採掘・加工・販売、墓石・石碑・石材工事一式
会社設立	1948年（昭和23年）
資本金	1,000万円
従業員数	12名
生産設備・技術	工場（2か所）と採掘場（1か所）
工場視察等	面談、工場・現場見学等、柔軟に対応可能
企業名	<a href="https://www.tsujisekizai.com/">辻石材工業株式会社</a>
URL	<a href="https://www.tsujisekizai.com/">https://www.tsujisekizai.com/</a>